

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年前期	3	2	選択
担当教員			
谷口 ジョイ			
添付ファイル			
講義概要			
この授業では、コミュニケーションの諸相や特性について、社会との関わりから学び、社会言語学の基礎を身につける。また、ディスカッションや口頭発表等を通して、学習した内容を自らのことばで表現し、応用できるような教室活動を展開する。複数の言語・方言の共通性や差異に焦点を当て、各回、個別のテーマについて議論を深める。授業で扱うテーマは、非言語コミュニケーション、語用論、意味論、会話分析等を予定しているが、履修者の興味・関心に沿う形での変更もあり得る。			
授業計画			
1	Course Introduction (1) 授業の到達目標、テーマ、概要、評価について説明する。 (2) 興味のあるテーマについて討議を行う (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える (AL3)。 (2) これまで自身が行ってきた英語学習方法について、わかりやすく説明できるよう準備する。 課題 指定されたTED Talkを視聴し、ワークシートにまとめる (AL4)。		
2	Topic: Social Linguistics (1) 社会言語学とはどのような学問か、どう生かされるかについて理解する。 (2) 20世紀までの言語研究について検討し、グループで討議を行う (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定されたTED Talkを視聴し、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第2講の内容について小テストを行うので復習をする。		
3	Topic: Regional Variation (1) 言語と地域について、その基礎を理解する。 (2) 地域変種（時に静岡方言）の特徴について、さまざまな例を見ながらグループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された文章を読み、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第3講の内容について小テストを行うので復習をする。		
4	Topic: Language and Social Class (1) 言語と社会階層について理解する。 (2) ことばと社会の関わりについて、社会階層という観点からグループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定されたTED Talkを視聴し、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第4講の内容について小テストを行うので復習をする。		
5	Topic: Language and Ethnicity (1) 言語と民族について理解する。 (2) ことばと社会の関わりについて、民族という観点からグループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された文章を読み、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第5講の内容について小テストを行うので復習をする。		
6	Topic: Language and Gender (1) 言語と性差について理解する。 (2) ことばと社会の関わりについて、ジェンダーという観点からグループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 授業で行なった活動について、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第6講の内容について小テストを行うので復習をする。		
7	Topic: Language and Age (1) 言語と年齢について理解する。 (2) ことばと社会の関わりについて、年代/年代という観点からグループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された動画を視聴し、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第1～7講の内容について小テストを行うので復習をする。		

	8	Topic: Bilingualism (1) 複数言語使用 (バイリンガリズム) という考え方について理解する。 (2) バイリンガリズムに関するさまざまな仮説に触れ、グループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された動画を視聴し、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第8講の内容について小テストを行うので復習をする。
	9	Topic: Style and Register (1) 言語の状況差、適切さについて理解する。 (2) スタイルやレジスターについてグループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された動画を視聴し、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第9講の内容について小テストを行うので復習をする。
	10	Topic: Discourse Analysis (1) ディスコース分析について理解する。 (2) CDA (Critical Discourse Analysis) を用いた演習を行う (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 ディスコース分析を行う (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第10講の内容について小テストを行うので復習をする。
	11	Topic: Descriptive Linguistics (1) 記述言語学とはどのような学問か+音韻論、語用論、統語論についてその基礎を理解する。 (2) 静岡方言の音声や、語構造、文構造に見られる特徴を概観し、各側面に見られる特性についてグループで討議を行う (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された文章を読み、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第11講の内容について小テストを行うので復習をする。
	12	Topic: Pragmatics (1) 人と人との会話はどのようにして成り立っているのかという語用論の基礎について理解する。 (2) ポライトネスやスピーチアクトについてグループで討議を行う。またグライスの会話の協調原理に違反する会話例を考える (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 指定された文章を読み、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第12講の内容について小テストを行うので復習をする。
	13	Topic: Intercultural Communication (1) ことばと社会の関わりについて、異文化コミュニケーションという観点からより深く理解する。 (2) バリエーションに関する調査を立案、実施するため、グループで討議を行い、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 調査を実施し、その結果をまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第13講の内容について小テストを行うので復習をする。
	14	Topic: Conversation Analysis Topic: English Teaching Methodology (1) 会話分析について理解する。 (2) 実際に会話分析を行い、その結果についてグループで討議し、発表する (AL1/AL2/AL5/AL6)。 準備学習 iLearn にアップロードされた「Guiding Questions」について考える。また、「Key Words」について意味や用法を調べる (AL3)。 課題 授業で行なったさ会話分析について、ワークシートにまとめる (AL4)。 グループ発表担当者はプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 第8～14講の内容について小テストを行うので復習をする。
	15	Final week (1) 授業で扱ったテーマについて復習する。 (2) これまで扱ったさまざまなテーマから一つ選定し、各グループでプレゼンテーションを行う。 (AL1/AL2/AL5/AL6) 準備学習 iLearn にアップロードされた「Rubric」に基づき、プレゼンテーションの評価基準を確認する (AL3)。また、グループ毎にプレゼンテーションの準備をする (AL4)。 課題 期末レポート作成
授業形態	講義及び演習 アクティブラーニング: ① 15回 ② 15回 ③ 15回 ④ 15回 ⑤ 15回 ⑥ 15回	
達成目標	(1) さまざまな言語現象を取り上げることにより、複数の言語・方言の特徴について社会との関わりから理解する。(基礎) (2) 「知識の習得」のみならず、学習内容を他者に分かりやすく伝える力を身につける。(標準) (3) 社会言語学で扱う複数のテーマについて考え、調査・研究を行うための素地を作る。(応用)	

評価方法・フィードバック	平常の授業活動（課題、口頭発表、議論への参加等）、最終プレゼンテーション、期末レポートによって評価する。課題や小テストについては、毎回採点、添削したものを返却し、正答率が低いものについては授業内にフィードバックを行う。 (1) 平常の授業活動（課題、口頭発表、議論への参加等） 50% (2) 最終プレゼンテーション 20% (2) 期末レポート 30%
評価基準	秀：100点～90点 上記達成目標 (1) (2) (3) に到達 優：89点～80点 上記達成目標 (1) (2) (3) に到達 良：79点～70点 上記達成目標 (1) 及び (2) に到達 可：69点～60点 上記達成目標 (1) に到達 不可：0～59点
教科書・参考書	岩田祐子ほか『改訂版 社会言語学』ひつじ書房 ISBN:9784823411434 参考資料などは適宜iLearn@SISTにアップロードする。
履修条件	英検2級程度の英語力を有すること。高度な英語力を身につけたいという意志があること。 （英語力等について不安がある場合は、事前に担当教員まで相談に来てください）
履修上の注意	本講義には、英語での動画視聴、論文購読が含まれる。 履修者の興味・関心によりシラバスに変更が生じた場合はiLearn@SISTに反映させるので、確認すること。
準備学習と課題の内容	シラバスに記載された準備学習には毎回1時間30分を要する。準備学習は、iLearn@SISTにアップロードされたワークシートへの解答、関連語彙の確認などが中心となる。また、課題の遂行には毎回1時間30分から2時間を要する。課題は、iLearn@SISTにアップロードされた動画の視聴、文章の読解、ワークシート、プレゼンテーションの準備など多岐にわたる。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:20%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:40%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	